



ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2640



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

夢をかたちに



2008-09 年度 R I 会長  
李東建



ガバナー 勝野 露観

## CONTENTS

1. 2008-2009 年度国際ロータリー会長紹介	1
2. 李東健(テーマ演説)	2~3
3. ガバナー就任ご挨拶	4~10
4. ガバナーを終えて	11~12
5. 再び ポリオ について	13~14
6. 地区組織一覧表	15
7. 地区委員会一覧表	16
8. ガバナー補佐一覧表	17
9. クラブ会長・幹事一覧表	18
10. 地区幹事一覧表	19
11. 文庫通信	20
12. 年間行事予定 7月行事予定表	21

2008-2009

7

NO.1



国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643

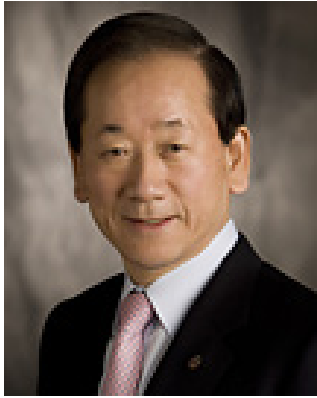
E-mail: info@rid2640g.org

URL: <http://www.rid2640g.org/katsuno/>



2008-2009 年度

## 国際ロータリー会長紹介



### 李 東 建

韓国、ソウル

2007 - 08 年度国際ロータリー会長エレクト

2003-07 年度ロータリー財団管理委員

2002 - 03 年度国際ロータリー財務長

2001 - 03 年度国際ロータリー理事

2004-05 年度会長主催祝賀会議（地域社会問題）委員長

1995-96 年度地区ガバナー

李東建氏は、ソウルにある製造会社、ブバン株式会社ならびにブバン・テクロン株式会社の会長を務めています。

延世大学で政治学と外交学の学位を取得した李氏は、現在、釜山情報大学の理事を務め、過去には、母校の高校と大学の学友会会長を務めたこともあります。また、ソウル銀行の理事を務め、韓国のイタリア領事館において名誉領事を務めた経歴の持ち主です。

2005 年には、韓国大統領によって国際親善大使に任命されました。

李氏は、1971 年にソウル漢江ロータリー・クラブに加わり、これまでに RI 理事、財務長、管理委員、地区ガバナー、および国際協議会の研修リーダーを務めてきました。また、ロータリー財団地域コーディネーター、ゾーンならびに地域の会員増強コーディネーターも務めたことがあります。現在は、韓国でポリオ撲滅民間部門推進計画の委員長を務めています。李氏は、財団の功労表彰状を受けています。1996 年には、地区ガバナーとして 32 の新たなクラブを結成し、1800 人近くの新会員を入会させ、李氏の地区は、同年度のロータリー世界のリーダーとなりました。第 87 回国際大会では、会員増強活動におけるその最高の功績を称えられ「カルガリー・チャレンジ」の受賞者として表彰されました。

韓国、ソウルに在住する李氏とヨン・ジャ夫人との間には、4 人の成人したお子さんと、4 人のお孫さんがいます。

## 夢をかたちに

2008-09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです



李 東 建 会長

ロータリーの奉仕の最たる特質は、一貫して、やるべきことは成し遂げるというロータリアンの固い志に表れています。私たちは日々、何千、何万という地域社会の中で、周囲を見回し、どこで、どのような形で人々を助けるのがベストかに思いを巡らせています。

私たちが行う支援活動はさまざまな状況に対応するものであり、その方法もまた多種多様です。クラブのレベルでは、学校に本を寄贈したり、身体障害者の世話をしたり、職業プログラムでボランティアをするなどの活動があります。クラブ同士が協力し合えば、単一クラブでは実現できないようなプロジェクトも可能になります。さらには、ロータリー財団の支援の下に、世界中の全クラブが一体となったとき、最も遠大かつ重要な目標である「世界からのポリオの撲滅」に渾身の力で取り組むことさえ可能になりました。

奉仕プロジェクトを選ぶにあたって、私たちは最大の成果が期待でき、後々まで恩恵が残されるものを実施するよう最善を尽くします。しかし、素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから、2008-09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです。

健康を享受する機会は、すべての子供に与えられて当然のものです。しかしながら、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供の数が3万人を超えているのが現状です。この数字を初めて知ったとき、私は、そんな馬鹿な、何かの間違いに違いないと思ったものです。しかし、その数字に誤りはありませんでした。悲しいかな、世界では毎日のように、肺炎やはしか、マラリアといった治療可能な病気で死んでいく子供たちが後を絶たないのです。最も基本的な資源であるきれいな水が手に入らないために死んでいく人々も一日に何千人といます。栄養失調や貧困も、ほかの要因と絡み合って、多くの人々の命を奪う主な原因となっています。

今後1年間の私の希望は、子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にさせていただくことです。

この思いから、私は2008-09年度のRIテーマを「夢をかたちに」としました。食糧と水、保健と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること……、これは(今現在)多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。2008-09年度、このような子供たちとその家族のために、どうか「夢をかたちに」してくださるようお願いいたします。そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動してください。

子供の死亡のほとんどは開発途上国で起きているため、ここに私たちは力を注がなければなりません。一方、それぞれのロータリークラブも地元地域の子供たちの安全と健康に寄与することで、責任を果たすことができます。最も豊かな国においてさえ、医療サービスを受けることのできない子供たちがいます。火災警報器、自転

車用ヘルメット、子供用安全シートといった、ごく単純な器具がないために、毎日、子供が死んでいるのです。そして、世界のあらゆる場所で、子供たちはいまだポリオの脅威にさらされており、私たちが約束どおりポリオのない世界を築くまで、その脅威から免れることはありません。

私も人の親であればこそ、わが子や孫たちの存在がいかに大切なものであるかが理解できます。私たちは子供をかわいがり、育て、全力をもって彼らの身を守ろうとします。ロータリアンである私たちは、さらに、地元地域のみならず、世界中の子供たちをかわいがり、育て、守り抜く責任があると私は信じております。

ここ数年の間、RI 会長は、同じ奉仕の強調事項を引き継いで掲げ、毎年、保健と飢餓追放、水、識字率向上を主眼とするプロジェクトに力を注いできました。この決定にはしかるべき理由があります。これらの強調事項は、ロータリーのリソースを最大限に生かして、目に見える進歩が期待できる分野だからです。また、莫大なニーズをはらむこれらの分野でロータリアンが発揮できる力も十分にあります。

この3つの強調事項を、私もまた引き継いでいく所存です。その中で、私がロータリー家族全員にお願い申し上げるのは、今ロータリー年度、子供たちの生活をより良くするプロジェクトに焦点を当てるよう特別に努力していただくことです。目標を達成するにあたり、3つの強調事項のそれぞれの分野は、相互に密接につながっています。水系感染の疾病で死亡する子供の数は1日あたり 6,000 人です。安全な水があれば、この数字を直ちに、しかも劇的に減らすことができます。栄養が十分であれば、子供は健全な発育を遂げ、病気への抵抗力も増します。そして、読

み書きの能力を備えた子供は、将来、自らが家庭を築くようになったとき、豊かな環境の中で健全な育児を営むことができる確率が高まるでしょう。

ロータリーは、まさに地球規模のボランティアたちのネットワークです。ですから、世界中のクラブが協力し合い、私たちがもてる技能と資材のすべてを結集させるなら、絶妙なタイミングで、ここぞという場所に、これぞという援助を提供することができるのです。私たちが一丸となったとき、子供の死亡率を低下させるという果敢な目標さえ取り組みが可能になります。これが類いまれな私たちの組織の資質です。私たちがあらゆる限りのリソースを生かし、各クラブとロータリー財団のリソースをも駆使するなら、真の意味で変化をもたらし、世界の子供たちのために「夢をかたちに」することができるでしょう。



李東建

2008-09 年度国際ロータリー会長

# 2008～2009 年 R I (国際ロータリー)

## 【テーマ】



夢を形にしよう！

## 【強調事項】

1. 水問題
2. 保健衛生・飢餓
3. 識字率の向上（教育問題）

本年度は子供に焦点を置いて欲しい

## 【2008～2009 年度会員増強目標】

1. 各クラブに於いて、少なくとも 10%の会員純増を図ること
2. 地区に於いて、新クラブを結成すること

## 【ビル・ゲイツ財団による1億ドル ポリオプラス対策に寄付】

ロータリー（R I）はビル・ゲイツ財団より1億ドル提供され1億ドル準備し計2億ドルを以ってポリオ撲滅に邁進する。世界のロータリアンに協力を求める。



## ガバナー就任ご挨拶



国際ロータリー第2640地区  
ガバナー 勝野 露観

新年度を迎えられた各クラブの会長・幹事さん！この1年間12ヶ月を通して毎月皆様のもとにメッセージを送らせていただきます。

このメッセージを通して、私の方針、考えをよく理解いただきますようお願い申し上げます。本来ならば皆様と毎月お会いして様々と語り合いたいのですが、それもなかなか困難でありますので、メッセージの形で送らせていただきます。ガバナーとしての考え、方針はPETS・地区協議会に於いて説明させていただきましたので、ご理解いただけた事と推察しております。

本年度のRIのテーマは「Make Dreams Real！」「夢を形に！」であります。昨今の世界の現況、特に日本の現況を眺めて見るに、これ程時機を得たテーマはありません。まさに時宜を得た現代にぴったりのテーマであります。現代に生きる人々は夢を失ってしまっている。今の時代は夢を失った時代、失夢の時代であります。そして今日程夢を必要としている時代はないでしょう。これからの時代を背負って行かねばならぬ若者達が夢を、志を持とおうとせず、夢を追い求める事をせず、社会に生きる大人たちは夢を忘れ夢を語ることをせずに、ただ現実の苦界の中に生きており、社会を世の中を導き指導し、リードしなければならぬ政界、官界、経済界、教育界そして世の魂を救済する立場にある宗教界の宗教家達、これらの人達、エリートと呼ばれる人達は国民に夢を語らず、それぞれの世界に於いて夢を語らず、日本の行く末、将来を語らず、日本をどう云う国にしようと云う夢を語らなくなってしまった。夢を語らないのは彼等に夢、そして大きな志、人々に対する思いやりと慈しみの心がなくなってしまう事の証明なのではなかろうか！あるのはただ自分達の欲望と利益追求ばかりではなかろうか！

### 『夢と憧れ！』

人間には夢と憧れが最も大切なものです。

人々は夢を憧れを求め続けています。夢があるならば、憧れがあるならば、どんなに苦しい環境、逆境の中にあっても、私達は生きていくことが出来るでしょう。何故ならば夢と憧れは、生きる力と生きる目標を私達に与えてくれるからです。

夢を与えず、憧れを与えず、喜びを与えず、苦しみばかりを与える指導者、リーダーに私達はついて行きません。

これは現実世界に於る真理です。この人民の心が時代の流れを形成するのです。「時代の心理」でもあります。この「時代の心理」は太古の昔から現代に至る迄、変わる事なく今日まで永永と時の伏流の中に、流れ続けて来ております。この人民の心、即ち時代の心理をよく認識する事が、指導者、リーダー達に最も求められるのです。

### 『変化！万物は流転し常に変化し続ける！』

時代は人々は変化を求めています。今のままでは幸福よりむしろ不幸が来るとわかっているから。今のままでは地獄が来ると感じているから、そして、万物はすべて変化するのが当然なのです。ロータリーは大きく変わる必要があります。変わらねばなりません。今のままではあまりにも夢と楽しみがありません。夢のあるロータリーに！夢の実現できるロータリーにしようではありませんか！その為には真白なロータリーにしなければなりません。そして真白なキャンパスに夢を描こうではありませんか！ロータリアンになったから、夢を実現できる力と希望と智慧を得た！と云うロータリーであって欲しい。それがガバナーとしての夢です。

### 『私はロータリーから現実を生きる為の慧知を得た！』と思えるロータリアンが増える事がガバナーとしての私の夢です。

現実を生きる為の慧知を確得する為には、先ず目の前の現実から逃げる事をせず、現実にしかりと足を置き 現実から遊離せず、現実をしかりと見すえ、現実の上ですわりこんで 夢を憧れ描く必要がある。そうしてこそ、その夢は現実をふまえた夢となるのです。現実の世界の声を耳に聞き、現実の苦悩をしかりとふまえて夢を描くのですから。

現実から離れては絵に描いたモチであって 幻想の世界のモチにすぎず、現実生きる人間にとって何の価値のないものになります。たとえそのモチが如何に素晴らしいものであろうと！

昨今のロータリーは奉仕！奉仕！と言って現実生きるメンバーにとって現実からあまりにも離れすぎてしまっている傾向があります。今の時代ロータリアンにとって最も大切で必要な事は何なのか？と云うことをあまりにも考えていません。これでは会員がロータリーを去って行くのは当然です。

新しく出発するためには白紙の状態、過去にとらわれるのでは無く、前例で動くのでは無く、真さらな状態にして出発する必要があります。過去にとらわれるのでは無く、だからと言って過去を無視するのでは無く、過去をよく見すえ、現実をしかり分析して、未知の世界に向かって旅立とうではありませんか。未来は明日は何も描いていない真白なキャンパスなのだから。皆様がそこに皆様の絵を夢を描いて下さい！

### I. M. について

I.M.も一度真さらに白紙の状態にする必要があります。I.M.は楽しい I.M.ではなくなっています。夢を与えるものでなくなっています。楽しい、ワクワクする有意義な I.M.にしたいと思いませんか！？真さらにしたいと言って、全く別の世界、組織を作るではありません。私達はロータリアンなのです

から。ロータリー生み出したポール・ハリスは夢を語りました。「欲得で動くのではなく、お互いを信じ合える友を得たい」「仲間を得たい」「何故なら、淋しいから！」と云う事を。

互いに切磋琢磨して、思いやりを持って自分を高め職業のレベルアップをはかる。そんな組織グループを作りたい！すばらしい人間に、魅力ある人間になりたい！と夢を語ったのです。その夢の結晶がロータリーの綱領となって花開いたのでしょう。皆さんはロータリーに入会しロータリアンになってから相当の年数を経過しておられる事でしょう。ロータリアンなのだから、先ずロータリーの追い求める夢を先ず知る必要があります。そう私は考えるのです。その思いから「皆様にロータリーをよく知って欲しい！ロータリーを勉強して欲しい！」と云うのがガバナーとしての私の皆様に対する希望であります。だからと言ってロータリーばかりを勉強して欲しいと云うものではありません。「ロータリーの知識(それはリーダーとしての必要な精神性)」と「現実世界に於る本当のリーダーの道」この二つのリーダー学を勉強して欲しいと云う気持ちから研修制度を地区に設置いたしました。

## 『二つの心』

私達、人間の心の中には、幼い子供達の中に大人達の心の中に、そして民族を超えて、あらゆる人達の心の中に「自分が幸福になりたい」と云う夢と、そして「人の為になりたい。世の中の役に立つ人間になりたい」と云う夢が、憧れがあります。また「人々に喜んで欲しい」と云う気持ちと「人々から喜ばれたい」と云う気持ちがあります。「人々に喜びを与えたい」と云う気持ちと「人々から喜びを得たい」と云う気持ちがあります。この気持ちを表面に出し、この夢を形にして現実のものにする為に、ロータリーは苦しんでいる人達に夢を与えようではありませんか！生きる力を与えようではありませんか！この夢の実現の為に協力して下さい。一緒にやろうではありませんか！と問いかけているのです。RIはポリオ(小児麻痺)で苦しんでいる幼い子供達に生きる夢を与えよう、彼等に生きる喜びを与えようではないかと語りかけています。

この夢にビル・ゲイツ財団は共鳴して下さり、1億ドルと云う大金を提供して下さいました。実にありがたい事です。皆さん！RIの夢をロータリーの夢を実現する為に、皆さんの善意を期待しております。

以上で私のメッセージは終わります。本年1年皆様と共にロータリー2640地区のカジ取りをしたいと考えております。

私の月信から何かを会得していただけたらありがたい事だと思っています。共にこの1年、会長の皆様、幹事の皆様と共に頑張りたい。よろしくお願い致します。



## 2008～2009 年度 地区目標

### 第1. RIの方針を取り入れて『夢を現実に、夢を形にしよう』

私達はロータリーに入会した時に夢が、憧れがありました。「すばらしい人間になりたい！」「すばらしい慧智を得たい！」「人生に於て成功したい！」「ビジネス・職業に於て成功したい！」と云う夢が憧れが。ロータリーにはそれらの夢を現実にさせる為の為の力と智慧があります。会員は各業界の代表者です。彼等には、すばらしい能力と経験と魅力とパワーがあります。

メンバーの持つこれらの力をおもてに出す事がクラブのリーダーに求められています。会員の夢を現実にさせる為の計画・プロジェクトを各クラブで考えていただきたい。

### 第2. ロータリーの原点に戻ろう！

ロータリー精神を甦らせる為に、ロータリーに綱領を高く掲げて

「ロータリーの原点に戻ろう！」

この事を目的として各クラブで、例会で綱領を必ず唱和して欲しい。

何故、この様な目標を立てたかと云うと最近の日本、世界の各界の有りようを見ると、特に政界、経済界、教育界に於いてトップたる指導者の精神性・倫理性・道徳性が著しく低下しておいて、様々なトラブルを引き起こし、社会に多大な損害を与えておる、質の低下が実にひどい！彼らに対する不信感が社会に蔓延している。これではダメである。いけない！

ロータリアンは各界のリーダーです。リーダーにとって大切な精神性を学ばねばなりません。時代の要請なのです。

### 第3. 会員増強

RIは10%を目標にしています。これが理想です。

### 第4. ライラを始めとする新世代活動に力をそそごう！

これらは実にすばらしいプロジェクトです。日本の明日を背負う若者を育成することは、ロータリーらしい有意義な活動です。

### 第5. ロータリー財団に御協力を！

特にビル・ゲイツ財団による1億ドル寄付に協力して下さい。

### 第6. CLPを考える！

## 地区運営方針

地区目標は 2640 地区全体のターゲットです。そして地区運営とは私達の地区の指導者、リーダーの皆様がどのように地区を運営していくかと云う事です。私は本年度、地区の皆様、パストガバナー、ガバナー補佐、ガバナーノミニーの皆様、各委員会の皆様をお願い致します。次のような方針で地区運営されん事をお願い致します。

1. ロータリーの核である職業奉仕の理念を深め、ロータリーの綱領を深く理解する為に、そしてすばらしい社会に於るリーダーとならんが為に、研修会やセミナーを企画する。
2. 地区指導者、クラブ指導者に対する研修を強化し、各ロータリークラブがロータリーの理念を効果的に実践できるようにする。
  - イ) 地区研修委員会の各委員会の機能を高め、地区の研修セミナーを企画し立案する。
  - ロ) クラブレベルの研修を強化するために各RCに「クラブ研修リーダー」の任命を推奨する
  - ハ) 「クラブ指導者育成セミナー」を開催し支援する。
3. ロータリークラブの魅力を回復し、活性化する為の様々な支援を計画する。
  - イ) クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)の本質とその手法を学び、クラブ活性化の推奨をはかる。
  - ロ) 「卓話・研修出前サービス」を実施する。
4. ガバナー補佐制度の充実！  
ガバナー補佐はガバナーにとって最も大切に重要な立場であります。ガバナーの特別補佐官であります。そのステイタスはガバナーにつぐ非常に高い位置にあるのですが、その役職、ステイタス位置づけが今までに非常に不明瞭でありました。私の年度に於いて明瞭なものにしたいと考えております。
5. I. M. を再検討する  
近年I.M.の出席率が非常に悪くなってきている。経費の割りに効果が上がっていない。もう少し参加意欲を高める為の計画作りが必要である。
6. 地区大会を成功させよう！  
2009年4月25～26日に堺のロイヤルホテルで開催します。

以上の地区目標、地区方針のもとで、この1年間頑張っていく決意であります。

会長・幹事の皆さん！そして各RCの会員の皆さん！共に夢の実現の為に頑張りましょう。

## リーダーとして一つ肝に銘じておかねばならぬ事があります。

・ロータリアンの全てがリーダーである事を忘れてはなりません。ロータリアンはその職業に於いても地域社会に於いても尊敬される存在の人達です。ですから、皆さんはリーダーの中のリーダーと云う特別な立場におられるのです。謙虚さを忘れずに権限を担っていただきたい。賢明で有能なリーダーであっていただきたい。そうであってこそ仲間のロータリアンの心をつかめるのです。それが成功につながるのです。

・あたり前の事、当然すべきありふれた事を一生懸命にやり遂げる事によって、パーフェクトへの道を手に入れることが出来るでしょう。

ビチャイ・ラタクル

### 平原祥彰直前ガバナーへの謝辞



平原直前ガバナー、2年間にわたり様々にご指導賜り、本当に有りがとう御座いました。心より御礼申し上げます。人は見かけによらぬ者とよく世上で申しますが、氏は一見取っつきにくい風ぼうで且つ、チョンマゲを結っておられるという古武士の如き容姿であります。その実に思いやりにあふれ、切れ味の鋭い感性とユーモアの持ち主であります。折にふれてユニークな口調でアドバイスいただきました。

平原直前ガバナーの年度は「ロータリーシェアーズ」(ロータリーは分かちあいの心)と云うRIテーマ、ウィルフリッドJ. ウィルキンソンRI会長のもと、職場と地域社会に於いて思いやりの精神と倫理観に基づいて行動しよう！分かちあいの心を以って率先して行動しよう！と云う行動テーマで奉仕活動されました。

そして「ロータリーを楽しもう」「バランスの取れた奉仕活動をしよう」と云う地区テーマをかかげられました。また平原直前ガバナーはガバナー補佐制度の充実に取り組まれたのです。私は氏の意志を引き継ぎ、三軒PDGの教えを体して、私の年度に於いて夢のあるすばらしい2640地区になるべく努力していく決意であります。平原祥彰直前ガバナー並びに奥様のご多幸を祈念申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。

## ガバナーを終えて

平原 祥彰



一年はあっという間でした。ガバナーに就任する前に、一年間エレクトを、その一年前にノミニーをとということで準備期間が与えられます。私の場合、ノミニーの期間は病気療養の為2週間でした。退院3週目からエレクトとして活動に入りました。公式訪問等で申し上げましたが、私は粉河ロータリークラブのメンバーでありまして、ロータリアンであるということは、とてもとても申し上げられる代物ではございませんでした。つまりタスキを掛け、歌をうたい、一緒に昼食をいただくクラブの会員にすぎなかったのであります。

直前ガバナー三軒先生の、やさしくも厳しい御指導をいただき、研修リーダーをはじめ、皆さんの御指導をいただき乍ら、私はその職に叶うようにと願い、懸命の努力をいたしました。今日ではノミニーのノミニーとして、もう一年準備期間を持てるように変更されておりますから、現在ではガバナー予定者は三年前から準備が出来ることになっております。ガバナー予定者本人は個人的準備を整えていけばいいわけですが、輩出するクラブは大変です。

地区協議会、地区委員会研修、会長エレクト研修、地区大会と記念事業、地区指導者育成セミナー、地区会員増強セミナー、財団セミナー、青少年指導者育成セミナー、等々、地区研修リーダー、地区委員会との調整準備等々、全く大変であります。

ガバナー補佐17名の皆さんとの研修会議も極めて重要でありました。ガバナー補佐の皆さんは、能力、経験、人望、熱意等々、誠に優れてロータリアンのスーパーの集団でありました。いかにも困難で手間のかかる事業をスパスパ片付けて行く能力と熱意に溢れたスタッフに恵まれました。まさにロータリーマジックを実感し、実践と友情を体感いたしました。

公式訪問はすべてのクラブ訪問を原則に8月末スタートいたしました。ガバナー補佐がクラブ協議会に出席して、その報告を受けての訪問でした。会長、幹事、会長エレクトとの懇談が一時間程度行われました。会員数、奉仕プラン、CLP、クラブ運営等々、たくさんの事柄について話し合われました。クラブのリーダー達の熱意に対し尊敬の念とロータリーの懐の深さを感じました。社会奉仕、国際奉仕について実践し、汗をかいているクラブとその重要性に気づかず、又、やり甲斐を感じて動いていないクラブとのクラブ間格差はとても大きな差になって行くだろうと実感いたしました。私たちが国の内外を問わず連帯し、リードして行くことを願うのであれば、つまりロータリーらしい活動をして行こうとするのであれば、WCSやRYLAの活動は一步踏み出して取り組むべきだろうと感じました。

就任し、2ヶ月目から始まったIMは各々のホストクラブの努力で、無事成功裡に終了いた

しました。ホストクラブの努力と資金を投じて開催されるIMでありますから会員が多数参加して楽しみ、大いに学び、価値ある一日にしなければなりません。反省すべき点があれば改善し、次に備えて欲しいと思います。地区大会は初日、地区指導者育成セミナーに参加されたメンバーは74クラブ、474名でした。2日目の参加者は74クラブ、1326名でした。地区外からは199名のゲストが、地区内ロータリーファミリーの参加者は92名でした。RI会長代理として、元RI会長ビチャイ・ラタクルさんをお招きして、感動的なスピーチをいただきました。

歓迎晩餐会も300名を超える参加者で賑やかでした。記念ゴルフ大会も200名を超えるメンバーのご参加を得て盛大に開かれました。

皆さんのご協力に心から感謝いたします。

RIクラブ定款に職業奉仕が明記されたことは、特筆すべき事であったと思います。国際協議会では渡辺RI理事が「職業奉仕は4大奉仕の巨大な根幹である」と明言されました。

決議23-34が示すとおり、ロータリーは思想団体ではなく実践する団体であること。ロータリーは確実な理念を伴った実践哲学を推進する集団であることを再確認いたしました。

CLPについては直前三軒年度でずいぶん沢山の議論を重ねました。私はクラブが自身の頭で考え、自身の手で活性化の為に活動する年だと考えておりました、クラブの支援は要請があり次第、情報規定委員会にお願いしてご苦勞をかけました。地区内のクラブのCLPは、まだまだ始まったばかりでこれからとの印象を持っております。

地区委員会や地区チームには、熱意に溢れ経験豊かな指導者が沢山おいでになります。このパワーをクラブのメンバーやリーダーにきっちり伝えること、このことがとても大切だと思います。

又、クラブからは新鮮なパワーを地区へ注入すること、このことがクラブ間の格差を埋めていくシークレットだと思います。財団の活動、米山奨学生の活動ともにみなさんのご理解とご協力により、立派に推進することが出来ました。他の地区の実態をみるとき2640地区の先輩のご努力を改めて感じ入りました。

“ロータリーを楽しもう” “ロータリーは分かち合いの心” を元に一年間会員の皆さんに支えられ、希望と夢を与えていただいた、誠に幸せな一年でありました。皆様の今後のご活躍とご健勝をお祈りいたしましてお礼に変えたいと思います。

ありがとうございました。



## 再び ポリオ について

RRFC・パストガバナー  
小島 哲



1985年から始まりましたポリオ撲滅運動は、今年で23年目に入ります。当時50万人と言われた発病者は大きく減って千人強となりましたが、まだ絶滅には至っておりませんが、現在の発病はインド、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの4カ国に限られてきました。そして、ロータリーは子供達に約束した「ポリオの撲滅」を最優先事項として続けて支援してゆくことを決定しております。

ワクチンの一斉投与についての色々な困難があります。

1. 内戦
2. 宗教上の問題
3. 異常な出生率
4. 移住する国民

これらの問題をすこしでも解決するために

1. 新しいワクチンの使用
2. 予防接種プラス・デー

ワクチン投与と各種の診療、治療を同時に行う

3. 移住民の通過点に予防接種所を設置
4. サウジアラビアでは上記4カ国（インド、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン）からの旅行者すべてに対し入国ビザの発行前に予防接種証明書の提出を義務付け、さらに入国時に新たに経口ワクチンを受けることも義務付けられています。

などの措置が講ぜられています。

いずれにせよ、まだ現時点で発病者があることは事実です。これを何とかせねばなりません。例えば、建物とか施設等ですと完成までの費用は比較的正確に計算できますが、ポリオ撲滅の様なビールス相手、国情相手の仕事では今後の費用について正確に推定することは非常に困難です。ロータリーでもここ20数年にわたり多額の支援をして参りました。今ポリオ撲滅に関する努力を止めるとなりますと、あつと言う間に「元の木阿弥」に戻ることは明かなのです。

私はここで一つの実例を思い出します。今から70数年前に国鉄のトンネル工事が行われました。有名な「丹那トンネル」です。開通したのは昭和9年です。つるはしで掘り、モッコ

で運び、トロッコを使つての工事であり、また地層が悪く落盤や湧水で多数の死者を出したのです。あまり事故が多いので働いている人々から「この工事を止めて欲しい」との要求がออกมาして、政府でも殆ど「工事の廃止」が決まりかけたのです。しかし、最後に労働者からの「ここで止めたら、「今までに亡くなった方々は犬死ではないか」亡くなった方の家族に「これはお父さんが命をかけて造ったトンネルだ」と自慢させたい」との意見がออกมาして、「続行させてくれ」となり、何年が後に見事開通してのです。

ロータリーも 20 数年にわたり努力を重ねてまいりました。勿論、国、CDC（米国防疫センター）、WHO（世界保健機関）、UNICEF（国連児童基金）などのご協力があつてのことですが、ここ「もう一歩」のところでは努力をやめるわけには参りません。仮に、発病がなくなつても、その後 10 年はワクチンの投与をせねばならないと言われております。今回 メリンダ・ゲイツ財団が一億ドルのチャレンジ・ギフトを受けてくれました。あのゲイツ財団でさえ、「ポリオ撲滅」は可能だと信じて協力を申し出てくれているのです。我々ロータリアンもそれに応えて、ここ 3 年間で同様の支援をするべきだと思つております。（3 年間 毎年 \$ 30/一人寄付）。

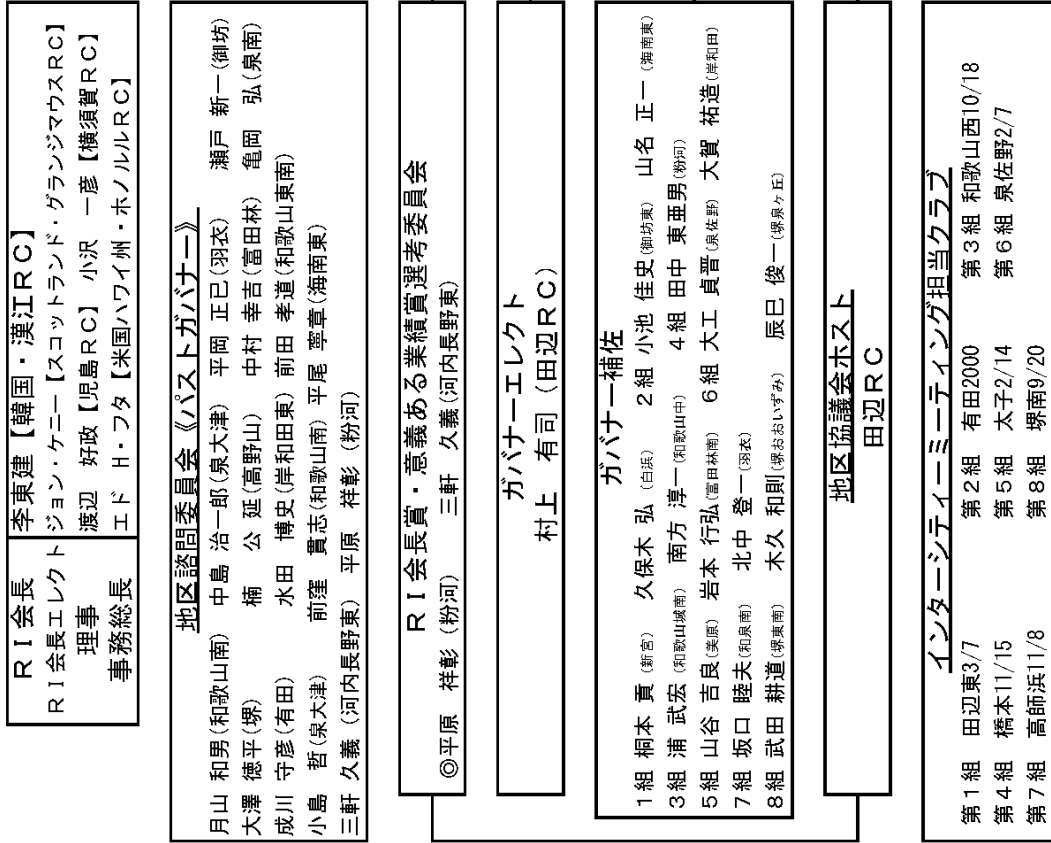
「ロータリーの友」誌の今年 1 月号、4 月号にそれに関する記事が出ております。ぜひともお読み頂きまして、ここまで追い込んで来た「ポリオ撲滅」運動にご協力下さるようお願い致します。

チャレンジ・ギフト 相手が出した金額と同額を出すと云う方法です。

今回はロータリーが寄付したのと同額をゲイツ財団が出してくれます（一億ドルまで）。



# 2008-09年度 国際ロータリー第2640地区 組織図 (案)



ガバナー  
**勝野 露観**  
(和泉RC)

地区ガバナー指名委員会  
◎三軒 久義(河内長野東) 月山 和男(和歌山南) 中島 治一郎(泉大津)  
平岡 正巳(羽衣) 瀬戸 新一(御坊) 大澤 徳平(堺)  
楠 公延(高野山) 中村 幸吉(富田林) 亀岡 弘(泉南)  
成川 守彦(有田) 水田 博史(岸和田東) 前田 孝道(和歌山東南)  
小島 哲(泉大津) 前窪 貴志(和歌山南) 平尾 寧章(海南東)  
平原 祥彰(粉河)

地区幹事  
地区代表幹事 桃田 隆彦(和泉) 飯田 貴司夫 杉田 憲貞  
地区副代表幹事 岡 照二 酒治 大谷 美智代  
地区幹事 河井 敦雄 森井 潤治 松尾 孝人 藤田 昌彦  
堀口 良蔵(和泉南) 山下 哲夫 山口 正真 味谷 毅弘 吉川 泰宏  
木下 房亮(和泉南) 飯坂 豊司 中川 秀彰(和泉南)  
辻田 善一 杉本 昌史 宇田 勝彦(粉河)  
吉田 透(田辺)

地区財務委員会  
◎丹羽 哲昭  
南出 正太郎

ロータリーの友 地区委員  
山口 正真(和泉)

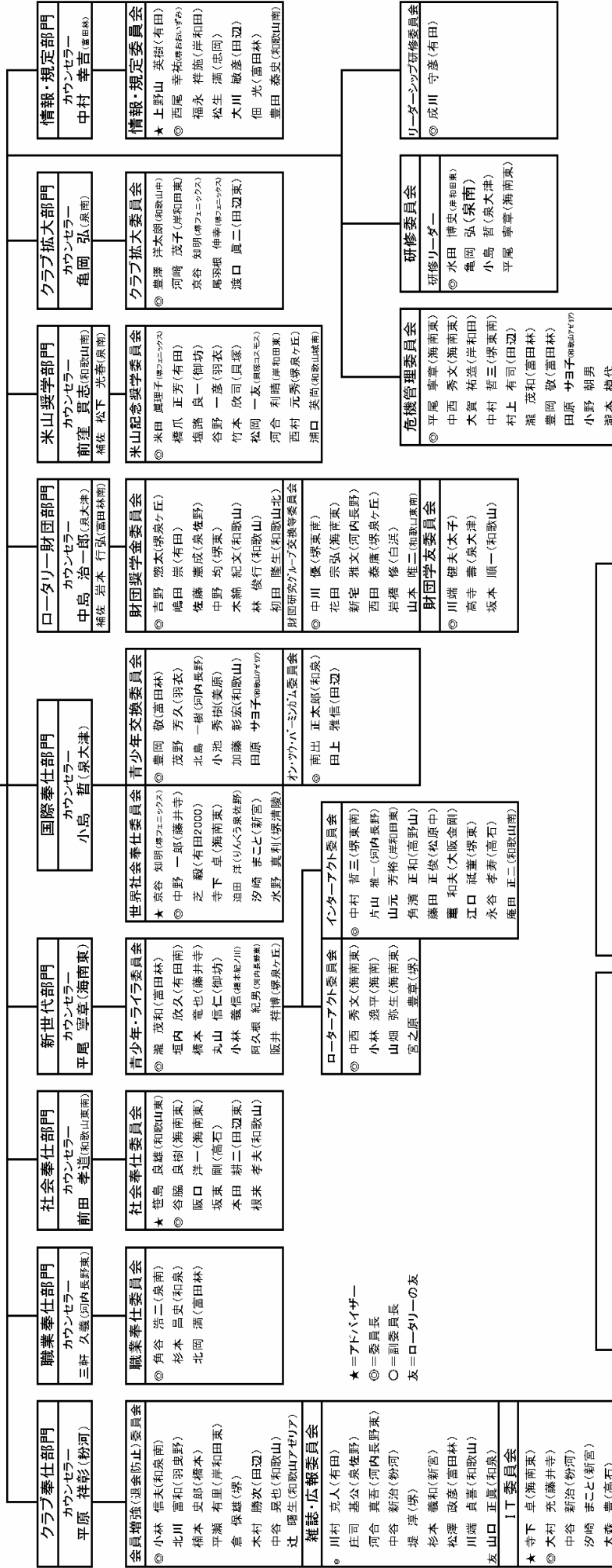
地区大会 09.4/25~26  
◎松田 光義  
好本 一二 辻川 佳明 飯坂 清 須藤 実  
ゴルフ大会 09.4/13(仮)  
委員長 達 俊一郎  
ゴルフ部会一同

地区委員会

# 2008～2009年度国際口一タリ一第2640地区委員会組織表(案)

2008. 6. 24現在

## 地区委員会



**インターアクト【スポンサークラブ(11)】**  
 高石(2) 河内長野(1) 富田林(1) 橋本・高野山(1)  
 和歌山南(1) 岸和田東(1) 堺東(1) 松原中(1)  
 堺東南(1) 大阪金剛(1)

**ローターアクト【スポンサークラブ(12)】**  
 有田(1) 和歌山(1) 御坊(1) 堺(1) 河内長野(1)  
 富田林(1) 岸和田(1) 泉佐野(1) 泉大津(1) 松原(1)  
 海南・海南東(1)

# ガバナ－補佐－覧

2008.3.24 現在

IM組	お名前	所属クラブ	担当クラブ
1組	桐本 貢	新宮	串本・那智勝浦・新宮
	久保木 弘	白浜	白浜・田辺・田辺はまゆう・田辺東
2組	小池 佳史	御坊東	有田南・有田 2000・御坊・御坊東・海南西
	山名 正一	海南東	有田・御坊南・海南・海南東
3組	浦 武宏	和歌山城南	和歌山東・和歌山城南・和歌山北・和歌山南
	南方 淳一	和歌山中	和歌山・和歌山アゼリア・和歌山中・和歌山西・和歌山東南
4組	田中 東亜男	粉河	橋本・橋本紀ノ川・岩出・粉河・高野山
5組	山谷 吉良	美原	藤井寺・藤井寺しゅら・羽曳野・松原・松原中・美原
	岩本 行弘	富田林南	河内長野・河内長野東・大阪狭山・太子・富田林・富田林南
6組	大工 貞晋	泉佐野	阪南・泉佐野・関西国際空港・りんくう泉佐野・泉南
	大賀 祐造	岸和田	岸和田・岸和田東・岸和田北・岸和田南・貝塚・貝塚コスモス
7組	坂口 睦夫	和泉南	和泉・和泉南・泉大津・忠岡
	北中 登一	羽衣	羽衣・大阪金剛・高石・高師浜
8組	木久 和則	堺おおいずみ	堺・堺東・堺南・堺北・堺フェニックス
	武田 耕道	堺東南	堺西・堺おおいずみ・堺泉北・堺東南
	辰巳 俊一	堺泉ヶ丘	堺北西南西・堺泉ヶ丘・堺中・堺清陵



# 2008-09年度 クラブ会長・幹事

2008.6.23現在

IM	クラブ名	会長名 幹事名	職業分類 職業分類	IM	クラブ名	会長名 幹事名	職業分類 職業分類
1組	串本	小寺 孝佳 矢倉 甚兵衛	土木請負 林業	2組	有田	山下 栄一郎 児島 良宗	内科医 仏教
	那智勝浦	高木 功 山田 善清	宿坊 農業		有田南	前田 佳英 片山 吉定	歯科医 青果物販売
	新宮	木下 真人 中山 宗典	外科医 屋根工事業		有田2000	平松 一彦 岩本 司	日本酒醸造 貴金属販売
	白浜	太田 豊和 岩橋 修	クリーニング業 ガス供給		御坊	丸山 初美 丸山 信仁	自動車電機 土産物販売
	田辺	新井 康司 植田 英明	日本酒販売 OA機器販売		御坊東	白井 勇 龍田 安廣	地質調査 建築
	田辺はまゆう	南 尚次 菅根 清	食品販売 土木設計		御坊南	谷口 卓司 上野 正直	料理店 電子部品加工
	田辺東	栗山 侑三 山本 亘	レコード販売 住宅資材販売		海南	沖殿 正博 小林 逸平	菓子卸 電気工事
3組	和歌山	森下 正紀 竹中 喜廣	石油販売 コマーシャルデザイン	海南東	宮田 貞三 山田 耕造	不動産業 土地家屋調査士	
	和歌山アゼリア	田端 順造 松田 美代子	リネン 環境リサイクル	海南西	河野 孝 神出 勝治	口腔外科 建築設計	
	和歌山東	八幡 建二 前田 成蔵	外車販売 断熱工事	橋本	奥村 浩章 森本 和洋	玩具製造 絹織物製造	
	和歌山城南	河野 正文 中芝 康順	不動産 化学製品製造	橋本紀ノ川	山下 輝 田村 章弘	合成繊維織物製造 酢製造	
	和歌山北	岩内 寛之 中島 延明	酒精飲料販売 不動産賃貸業	岩出	谷川 芳昭 木下 智弘	花卉栽培 小規模	
	和歌山南	村上 恒夫 成瀬 宏司	無線通信機器 屋根工事	粉河	井関 孝純 堀木 耕一	果樹園経営 美容用品卸	
	和歌山中	中井 俊治 谷口 秀雄	酒類販売 畳製造	高野山	角濱 正和 近藤 本淳	豆腐製造 仏教	
和歌山西	主井 知子 寺坂 義章	写真・デジタルイメージング 幼稚園	阪南	阿形 武雄 上野 賢二	電子部品製造 土地家屋調査士		
和歌山東南	津川 善昭 溝落 和作	自動二輪販売 建築設計	泉佐野	吉田 陽彦 佐藤 憲成	口腔外科 仏教		
5組	藤井寺	大村 充 中井 勇一	デザイン コンクリート製品製造	貝塚	信 聖瑞 大原 一浩	仏教 サッシ製造・販売	
	藤井寺しゅら	岡田 一樹 山尾 修	お茶販売 非鉄金属販売	貝塚コスモス	柳田 正子 川崎 晃生	ビル管理 和服販売	
	羽曳野	八尾 清隆 松本 隆昌	燃料油販売 砕石業	関西国際空港	安田 善守 亀井 定雄	空港計画 仏教	
	河内長野	井戸 清明 森下 裕子	貨物運送 舞踊	岸和田	福岡 敏文 宇野 芳孝	理容 不動産管理	
	河内長野東	森本 益行 河合 真吾	不動産全般 電気工事	岸和田東	亀井 亮雄 上林 史和	心臓外科 グラフィックデザイン	
	松原	鶴山 昭雄 岡田 安司	耳鼻咽喉科医 眼科医	岸和田北	山岸 哲夫 谷川 賢教	口腔外科医 清掃用品レンタル販売	
	松原中	泉本 信彦 柴田 勝久	ポルベアリング製造 歯科補綴医	岸和田南RC	西村 滋二 松本 六三	電気制御機器製造配布 宅建業	
美原	小池田 稔 泉 並正	電気工事 不動産賃貸	りんくう泉佐野	信貴 勲次 濱本 賞	歯科 クリーニング		
7組	大阪狭山	丸山 建夫 奥平 昇	交通安全施設 不動産賃貸	泉南	北浦 信 筑紫 省亮	食品品製造 仏教	
	太子	葉山 茂俊 萩 和夫	不動産業 鋼材の加工・販売	堺	黒川 眞男 宮之原 豊章	和菓子製造 美容業	
	富田林	松澤 政彦 寺田 廣美	濾過装置 精密機械	堺東	中村 清嗣 八百 正浩	眼鏡商 歯科医	
	富田林南	土井 彰 飯坂 忠久	機械部品輸出 旅行業	堺北西南西	森 末充 勝間 靖彦	陸上運送 保険代理業	
	羽衣	米澤 清和 北中 登一	口腔外科 耳鼻咽喉科医	堺泉ヶ丘	吉野 惣太 西田 泰庸	工業用刃物貿易 郵便事業	
	和泉	原 和幸 岸田 庄真	防災設備 マンション経営	堺北	山中 喜八郎 徳田 稔	自動車販売 総合建設業	
	和泉南	酒家 進 高橋 活成	消化器科医 仏壇仏具販売	堺南	富永 泰示 中瀬 寿隆	写真家 自動車販売	
泉大津	浜本 俊朗 小島 哲一	歯科医 油剤製造	堺中	木村 隆男 岩谷 安敏	不動産賃貸業 建築工事業		
大阪金剛	辻本 雅一 阪本 栄	外科 精神科	堺西	嶽盛 和三 脇村 利恵子	仏教 陸上運送業		
忠岡	松村 輝男 松生 満	不動産コンサルティング 学習塾	堺おおいすみ	横山 俊彦 坂田 有造	耳鼻咽喉科 ビール醸造		
高石	吉本 和子 嶋田 剛康	保育園 幼稚園	堺フェニックス	犬伏 幸代 楠 玲子	歯科医 教育指導		
高師浜	船富 雄三 辻内 清一	ニット製造 建築板金	堺清陵	物種 唯修 系川 和男	建築材料配布&ギフト加工 口腔衛生		
			堺泉北	中村 俊二 中野 秀樹	空調設備配布 司法書士		
			堺東南	鶴 宏文 中川 優	調味料販売 教育		

## 2008～09年度 地区幹事一覧表（案）

2008.1 現在

役職名	氏名	担当分野	所属クラブ
代表幹事	桃田 隆彦	総括 公式訪問 支出 決算 日本事務局担当	和泉RC
副代表幹事	岡 照二	PETS " IM マンスリーレター 会計	"
"	飯田 貴司夫	" " " " オンツウバーミンガム	"
"	杉田 憲貞	" " " " 会計	"
幹事	河井 敦雄	国際奉仕	"
"	森井 潤治	増強・拡大	"
"	大谷 美智代	ロータリー情報・規定	"
"	堀口 良蔵	米山奨学事業	和泉南RC
"	松尾 孝人	職業奉仕	和泉RC
"	脇田 昌彦	世界社会奉仕	"
"	木下 哲夫	青少年交換	"
"	山口 正眞	IT・ロータリーの友	"
"	味谷 叡弘	雑誌・広報	"
"	吉川 泰宏	ローターアクト	"
"	辻 房克	GSE	和泉南RC
"	飯坂 豊司	青少年ライラ	和泉RC
"	中川 秀彰	社会奉仕・環境保全	和泉南RC
"	吉田 善一	インターアクト	和泉RC
"	杉本 昌史	R財団奨学金	"
"	宇田 勝彦	直前代表幹事	粉河RC
"	吉田 透	次年度代表幹事	田辺RC

### 地区財務委員会

- ◎丹羽 哲昭
- 濱田 豊
- 津村 益道

### 地区大会委員会

- ◎松田 光義
- 好本 一二
- 辻川 佳明
- 飯坂 清

### 地区大会担当幹事

- ◎須藤 実

### 記念ゴルフ大会担当

- ◎達 俊一郎
- ゴルフ部会一同

### 地区監査

- ◎南出 正太郎

# 文庫通信 (250号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 最近のロータリー情報より (1)

- ◎「韓国のロータリー現況」 李 東均 (第9回 ROTARY 日韓親善会議報告書) 2008 8p
- ◎「韓日新世代交流プログラムの昨日、今日、そして明日」 禹 鳳濟  
(第9回 ROTARY 日韓親善会議報告書) 2008 4p
- ◎「ロータリーを支えようー真心込めて」 四津谷仁朔 (絆 (IV)) 2008 6p
- ◎「世界はあなたを待っている」 関場慶博  
(第12回ロータリー青少年交換研究会長崎会議報告書) 2007 5p
- ◎「価値ある増強」 井上瑛夫 (D.2680 月信) 2008 5p
- ◎「ロータリーの神髄」 深川純一 (D.2680 月信) 2008 12p
- ◎「職業宣言」 鈴木政昭 (D.2800 月信) 2008 2p
- ◎「2680 地区 2007~2008 年度ロータリー財団セミナー」 松下 衛  
(D.2680 月信) 2007 10p

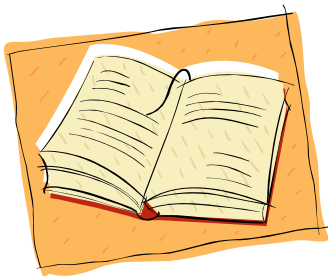
[申込先: ロータリー文庫 (コピー) ]

## ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>



開館=午前10時~午後5時

休館=土・日・祝祭日

7 月

1日	(火)	ガバナー・パストガバナー・ガバナーエレクト懇談会	新高輪プリンスホテル
2日	(水)		
3日	(木)	地区社会奉仕委員会会議	和歌山東急イン
4日	(金)		
5日	(土)	第1回諮問委員会・ご夫人の集い	JR和泉府中駅前 うお健ビル
6日	(日)	2008-09年度長期派遣学生への第5回最終オリエンテーション 2007~08年度北半球長期受入学生への修了証書授与式およびホストファミリーへの感謝状授与式 2008~09年度短期交換学生送迎会	テクスピア大阪
7日	(月)		
8日	(火)		
9日	(水)		
10日	(木)		
11日	(金)	財団セミナー	
12日	(土)	↓ 地区IT委員会会議	ガバナー事務所
13日	(日)	クラブ会長会議	JR和泉府中駅前 うお健ビル
14日	(月)		
15日	(火)		
16日	(水)		
17日	(木)		
18日	(金)		
19日	(土)	クラブ雑誌・広報、IT委員長会議	JR和泉府中駅前 うお健ビル
20日	(日)	第1回クラブ財団委員長会議	JR和泉府中駅前 うお健ビル
21日	(月)	インターアクト年次大会	初芝塚中学
22日	(火)		
23日	(水)		
24日	(木)		
25日	(金)		
26日	(土)	クラブ社会奉仕・環境保全委員長会議	JR和泉府中駅前 うお健ビル
27日	(日)		
28日	(月)		
29日	(火)		
30日	(水)		
31日	(木)		



国際ロータリー第2640地区  
ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L http://www.rid2640g.org/katsuno/

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 桃田 隆彦

事務職員 山本千恵子 平田有紀子